



令和6年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年2月9日

上場会社名 フクビ化学工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7871 URL https://www.fukuvi.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)八木 誠一郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員経営戦略本部長 (氏名)多比良 幸一 (TEL) (0776) 38-8402
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績(令和5年4月1日~令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	30,299	1.5	1,490	21.1	1,756	16.2	1,423	30.0
5年3月期第3四半期	29,850	9.0	1,230	26.5	1,511	23.9	1,095	32.7

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 2,259百万円(67.8%) 5年3月期第3四半期 1,346百万円(50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	71.51	—
5年3月期第3四半期	53.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	52,292	35,970	67.2
5年3月期	50,760	34,254	66.0

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 35,136百万円 5年3月期 33,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	9.00	—	13.00	22.00
6年3月期	—	15.50	—		
6年3月期(予想)				13.00	28.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,730	2.9	1,680	8.1	1,920	1.0	1,490	0.5	75.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

6年3月期3Q	20,688,425株	5年3月期	20,688,425株
6年3月期3Q	768,177株	5年3月期	832,097株
6年3月期3Q	19,898,959株	5年3月期3Q	20,326,357株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな景気の回復がみられました。一方、海外景気の下振れリスクや物価上昇の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、材料高騰、建築費の上昇、職人不足などの影響により、令和5年4月～12月の新設住宅着工は、戸数618千戸（前年同期比6.3%減）、床面積48,333千㎡（同8.5%減）となりました。

このような環境のもと当社グループでは事業別に重点分野を定めて拡販活動を推進しています。

建築資材事業では、新築、リフォーム問わず求められる高断熱化に注力し、高性能フェノール断熱材『フェノバボード』が大幅に伸長しました。また、省力化・高耐久に注力した製品群も好調で、食品工場、クリーンルームなどに最適な窯業系不燃R巾木『ソリッドライン』、浴室開口枠額縁『UB枠』などが伸長しましたが、大幅な着工減、職人不足による完工遅延が影響し売上は弱含みしました。

産業資材事業では、経済産業省・環境省の「先進的窓リノベ事業」による窓枠関連分野の相手先ブランド製品の伸びが一段落しましたが、マイクロバスや観光バス向けの部材の需要は好調に推移しました。また、精密化工分野では、自動車業界の景況感は改善してきていますが、一部EV車の伸び悩みが影響し、非車載では医療分野関連など改善がみられるものの総じて車載・非車載ともに弱含みで推移しました。

海外事業においては、米国、タイ、ベトナムの3現地法人ともに自社ブランド品が伸び悩みましたが、本部の新規海外取引が伸長し、総じて売上は堅調に推移しました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は302億99百万円と、前年同期に比べ1.5%の増収となりました。利益面につきましては、営業利益14億90百万円（前年同期比21.1%増）、経常利益17億56百万円（同16.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億23百万円（同30.0%増）となりました。

なお、特別利益として退職給付信託返還益2億64百万円を計上しています。

事業別の売上状況は、以下のとおりであります。

（金額単位：百万円）

	分類	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
建築資材	外装建材	4,377	14.7	3,959	13.1	△418	△9.6
	内装建材	9,533	31.9	9,874	32.6	342	3.6
	床関連材	5,942	19.9	5,997	19.8	55	0.9
	システム建材	2,974	10.0	2,873	9.5	△102	△3.4
	計	22,825	76.5	22,702	74.9	△123	△0.5
産業資材		7,025	23.5	7,597	25.1	572	8.1
合計		29,850	100.0	30,299	100.0	449	1.5

〔建築資材事業〕

建築資材事業では環境配慮型商品ブランド「Fukuvalue」の拡充に注力するとともに、新製品、既存製品問わず新市場に向けた販路の拡大に取り組みました。特に注力製品についてはデジタルマーケティング、ウェブセミナー、展示会を通じて、新たな顧客の開拓と関係強化に努めています。

製品別では、外装建材において樹脂製瓦棧『エコランバー』が堅調に推移した一方で、住宅用防水部材『ウェザータイト』や換気部材が伸び悩み、39億59百万円（同9.6%減）となりました。

内装建材においては、内装下地材や見切部材が低調に推移しましたが、樹脂開口枠や高性能断熱材『フェノバボード』が順調な伸びを示し、98億74百万円（同3.6%増）となりました。

床関連材においては、機能束や床支持具が伸び悩みましたが、樹脂系床仕上材、乾式遮音二重床システム部材などが好調に推移し、59億97百万円（同0.9%増）となりました。

システム建材においては、リフォーム用システム建材が堅調に推移した一方で、防蟻関連材や環境配慮型人工木材である再生木『プラスッド』が伸び悩み、28億73百万円（同3.4%減）となりました。

こうした結果、建築資材事業の売上高は、227億2百万円（同0.5%減）となりました。

〔産業資材事業〕

産業資材事業の売上は、75億97百万円（同8.1%増）で、売上高全体の25.1%を占めました。

機器部材および精密化工品が伸び悩みましたが、窓枠部材および車輛部材は好調に推移いたしました。また、昨年発売した『樹脂製フォークガード』が堅調で売上増加に貢献しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15億33百万円(前期末比3.0%)増加し、522億92百万円となりました。主な増減要因としましては、流動資産では、現金及び預金が16億16百万円減少した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が11億78百万円増加したことや、電子記録債権が8億20百万円増加したこと等により、30百万円(同0.1%)の増加となりました。これらは主として当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であった影響によるものです。固定資産では、退職給付に係る資産が6億99百万円減少した一方で、投資有価証券が19億3百万円増加、また主にERP導入に伴い無形固定資産のリース資産が2億80百万円増加する等、15億3百万円(同9.4%)の増加となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1億83百万円(前期末比1.1%)減少し、163億22百万円となりました。主な増減要因としましては、流動負債では未払費用が1億34百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が7億25百万円減少、また未払法人税等が3億18百万円減少したこと等により、8億72百万円(同5.9%)の減少となりました。固定負債では、繰延税金負債が4億79百万円増加、またリース債務が2億27百万円増加する等、6億89百万円(同40.5%)の増加となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ17億16百万円(前期末比5.0%)増加し、359億70百万円となりました。利益剰余金が8億51百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が7億45百万円増加したこと等によるものです。この結果、株主資本合計は325億34百万円、自己資本は351億36百万円となり、自己資本比率は67.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては依然として不透明な状況が続くものと予想されますが、現時点において令和5年5月15日公表の通期連結業績予想に変更はありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後の経営環境を踏まえ、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,119	10,503
受取手形、売掛金及び契約資産	11,381	12,558
電子記録債権	4,024	4,844
商品及び製品	3,607	3,324
仕掛品	821	754
原材料及び貯蔵品	1,536	1,559
未収入金	1,162	1,156
その他	127	109
流動資産合計	34,777	34,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,891	3,835
機械装置及び運搬具（純額）	2,050	2,031
工具、器具及び備品（純額）	177	202
土地	1,903	1,908
リース資産（純額）	389	422
建設仮勘定	105	122
有形固定資産合計	8,514	8,520
無形固定資産		
その他	432	751
投資その他の資産		
投資有価証券	4,239	6,142
長期前払費用	197	182
退職給付に係る資産	2,309	1,610
繰延税金資産	40	32
その他	250	247
投資その他の資産合計	7,036	8,214
固定資産合計	15,982	17,485
資産合計	50,760	52,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,186	10,461
短期借入金	116	95
1年内返済予定の長期借入金	34	34
未払金	136	213
未払法人税等	372	54
未払費用	1,167	1,302
有償支給取引に係る負債	521	479
賞与引当金	609	349
その他	663	946
流動負債合計	14,804	13,933
固定負債		
長期借入金	33	16
リース債務	485	711
長期未払金	298	298
繰延税金負債	821	1,300
退職給付に係る負債	63	62
その他	1	2
固定負債合計	1,701	2,389
負債合計	16,505	16,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,194	2,194
資本剰余金	1,512	1,511
利益剰余金	28,409	29,260
自己株式	△467	△431
株主資本合計	31,648	32,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,297	2,041
為替換算調整勘定	236	377
退職給付に係る調整累計額	340	183
その他の包括利益累計額合計	1,873	2,601
非支配株主持分	733	835
純資産合計	34,254	35,970
負債純資産合計	50,760	52,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	29,850	30,299
売上原価	21,119	21,141
売上総利益	8,731	9,158
販売費及び一般管理費	7,501	7,669
営業利益	1,230	1,490
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	138	161
為替差益	55	64
その他	116	72
営業外収益合計	309	300
営業外費用		
支払利息	1	2
債権売却手数料	9	11
その他	18	20
営業外費用合計	28	34
経常利益	1,511	1,756
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	1	-
退職給付信託返還益	189	264
特別利益合計	189	265
特別損失		
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	36	-
その他	1	-
特別損失合計	37	1
税金等調整前四半期純利益	1,663	2,020
法人税、住民税及び事業税	358	292
法人税等調整額	151	225
法人税等合計	508	517
四半期純利益	1,154	1,503
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	80
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,095	1,423

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	1,154	1,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	745
為替換算調整勘定	292	187
退職給付に係る調整額	△147	△157
その他の包括利益合計	191	775
四半期包括利益	1,346	2,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,215	2,152
非支配株主に係る四半期包括利益	130	126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。